【熊本県賞】

　　　　　　大切な水　　　　熊本県　山都町立清和中学校　一年　藤嶋　隆之介

　ぼくの家には、山水が主に使われていて、たけのこを洗ったり、くつを洗ったりそんなことに使っています。その水は、川が近くにあるので、そこに、使った水が行きます。

　そして、ぼくの家の近くには、井無田高原キャンプ場があり、そこには池があります。そこの池の水もぬく時は、その川に行きます。

　ぼくの家の水の種類は、もう一つあります。もう一つは、水道水で、水道水は、おふろの水、皿洗いにも使われています。ただ地しんがあると、水道が止まって、山水を使っています。なのでぼくの家は山水を主に使っているのです。そして、ぼくの家のとなりに家があって、そこも山水を使っています。なので、あんまり雨が降らないと、水が必要になってきます。山水は、とちゅうで、２つのタンクにためられるので、それを使うので、ケンカみたいなのにはなりません。それと、近くの川には、魚が過んでいるのでそこで魚つりなどもします。キャンプ場の池には魚はいないけれど、カエルやトンボの幼虫のヤゴなども過んでいるので、自然豊かです。しかも、ぼくの家の山水の水源の所には、きれいな水の所にしか生えないという植物も生えています。なので、水もすんでいます。ただパイプが外れてしまうと、ぼくのおばあちゃんや、ひいばあちゃんが見に行ってくれます。なので、あんまり困らないです。ただ、近くに山があるので４月５月ぐらいになると、イノシシがたけの子を食べにくるので、イノシシがパイプをはずしたりするのでたいへんです。となりの家の人は、米作りをしているので、そこも山水を使っているので、いろいろとたいへんです。なので、水のありがたみをかんじられます。ぼくの家は、夏になると、水遊びをしますなのでそこで大量の水を使うけれど、水がこなくなったりましません。

ぼくは、５年生のころ、水の学校というのをしました。そこで、水質のけん査をして、近くの川を調べました。そのけん査のけっかは、きれいな方でした。それにくわえ、牛乳も調べたけれど、きたない方だったので、この川がきれいだとわかりました。

　今までのけいけんなどをふり返って、ぼくは、たくさんの人のおかげであんしんして水を使えている。飲めているというありがたみをあらためてかんじました。なので、将来のことは、わからないけれど、もし、大きくなったらこの家にすんで、としをとっていってたら、次は、ぼくが、山水がとおるパイプが外れたりしたらなおしに行かなきゃいけない。それに、この家の水のことなどを教えていこうと思いました。しかも、水が少なくなったりしたら、手を洗う時は、水を出しっぱなしにしたいや、皿を洗う時は、なにかにためて洗うことなどを、教えたり、今は、しっかり心がけておこうと思います。なので、今からも、水を大切にしていこうと思います。